

兵庫県立芸術文化センター ラインナップ 2024

阪神・淡路大震災からの「心の復興、文化の復興」のシンボルとして、開館（H17年10月）以来18年間、年間約50万人の入場者を迎え、総入場者数は850万人を超えました。

令和6年度においても、①多彩な舞台芸術の『創造・発信』、②芸術性豊かなものから親近感に富むものまで『幅広いニーズ』に応える上演、③舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援、といったコンセプトに基づき、佐渡裕芸術監督プロデュースオペラや、兵庫芸術文化センター管弦楽団の演奏、河内厚郎特別参与企画による兵庫ゆかりの古典芸能など、多彩で上質な舞台芸術を皆さまにお届けします。

【令和6年度ホール別の主催事業数・公演数】

区分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル等	演奏活動	青少年芸術体験事業 わくわくオーケストラ事業	
KOBELCO 大ホール	49事業 65公演	4事業 4公演	11事業 30公演	1事業 40公演	65事業 139公演
阪急 中ホール	46事業 87公演	5事業 11公演	—	—	51事業 98公演
神戸女学院 小ホール	30事業 34公演	3事業 3公演	5事業 5公演	—	38事業 42公演
小計	125事業 186公演	12事業 18公演	16事業 35公演	1事業 40公演	154事業 279公演
外部公演	9公演	—	1事業 1公演	—	1事業 10公演
楽団外部依頼	—	—	11事業 11公演	—	11事業 11公演
計	125事業 195公演	12事業 18公演	28事業 47公演	1事業 40公演	166事業 300公演

【主なラインナップ】

1 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ 2024、コンサート公演

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラ全8回ロングラン公演を展開するのは全国的にも珍しい。幅広いオペラファンの獲得・定着をめざす。

関連企画として「蝶々夫人」の魅力を初心者にもわかりやすく紹介する「ハイライトコンサート」を県内9会場で開催、「ワンコイン・プレ・レクチャー」では作品の魅力や隠された秘密を講師が解説する。

(1) 歌劇「蝶々夫人」(全3幕/イタリア語上演・日本語字幕付き/改訂新制作) [新制作 19 作目]

〔日程〕 7月12日(金)～21日(日) 8公演 ※16、19日を除く

〔会場〕 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〔主催〕 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

〔制作〕 兵庫県立芸術文化センター

〔指揮〕 佐渡 裕(芸術監督)

〔原演出〕 栗山昌良 〔再演演出〕 飯塚励生

(2) オペラ関連企画

①歌劇「蝶々夫人」ハイライトコンサート～ええとこどり！

県内9会場9公演(4/20 赤穂市、4/21 洲本市、4/27 養父市、4/28 福崎町、4/29 西脇市、5/3 三田市、5/5 小野市、5/11 丹波篠山市、5/12 明石市)、芸文センター(4/17、18)で実施(計10会場11公演)

②ワンコイン・プレ・レクチャー

5/29(同日2回)、講師：中村敬一、ゲスト：晴 雅彦

(3) ジルヴェスター・ガラ・コンサート 2024 ※開館 20 周年に向けてのキックオフ事業
12/29～31 (3 公演)

指揮:佐渡 裕(芸術監督) 管弦楽:兵庫芸術文化センター管弦楽団

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC オーケストラ)

芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」の顔にふさわしい多彩な活動を展開する。

(1) 定期演奏会 (KOBELCO 大ホール)

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲までの魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏。

演 目	公演日	出演者等
〔2023-2024 シーズン〕		
第 150 回 松下功:和太鼓協奏曲「飛天遊」	6.5.10～12	指 揮:角田鋼亮 太 鼓:林 英哲
第 151 回 スマタ:連作交響詩「わが祖国」	6.6.14～16	指 揮:下野竜也
第 152 回 アルチュアン:トランペット協奏曲	6.8.2～4	指 揮:佐渡 裕 (芸術監督) トランペット:セリーナ・オット
〔2024-2025 シーズン〕		
第 153 回 ショパン:ピアノ協奏曲第 1 番	6.9.13～15	指 揮:佐渡 裕(芸術監督) ピアノ:亀井聖矢
第 154 回 トゥヴェルグ:チェロ協奏曲	6.10.18～20	指 揮:下野竜也 チェロ:マリオ・ブルネロ
第 155 回 マラー:交響曲第 6 番「悲劇的」	6.11.8～10	指 揮:カーチン・ウオン
第 156 回 マラー:交響曲第 8 番	7.1.17～19	指 揮:佐渡 裕(芸術監督)
第 157 回 中川英二郎:トライセンス	7.2.21～23	指 揮:クリスティアン・アルミンク トロンボーン:中川英二郎
第 158 回 モーツァルト:ホルン協奏曲第 3 番	7.3.7～9	指 揮:川瀬賢太郎 ホルン:シュテファン・ドール
第 159 回 チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲	7.5.23～25	指 揮:ミハイル・プレトニョフ ヴァイオリン:前田妃奈
第 160 回 ハイドン:ピアノ協奏曲	7.6.20～22	指 揮:ユベール・スターン ピアノ:児玉 桃
第 161 回 プリテン:戦争レクイエム	7.8.8～10	指 揮:佐渡 裕(芸術監督)

(2) 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 (KOBELCO 大ホール)

兵庫県内の中学 1 年生 (約 4 万 5 千人全員) を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設ける (40 公演) ことにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育 (体験教育) の振興を図る。

(3) アウトリーチ活動

遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団の PR を図るため、アウトリーチ活動を展開。

(4) その他

スーパーキッズ・オーケストラ公演、県議会議場コンサート等、様々な演奏活動を展開

3 河内厚郎(芸術文化センター特別参与) プロデュース公演

兵庫ゆかりの古典芸能を上演 (文楽 in Hyogo<豊竹若太夫襲名披露公演>『平家女護島 鬼界が島の段』(6/29)、劇場へ行こう～躍動する古典芸能の世界～(2/1))

4 こども向け公演

春爛漫 茂山狂言会(4/20)、宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル(5/5)、中川賢一のピアノ・パーク！(8/3) など

5 幅広いニーズにこたえる公演

(1) 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等 (KOBELCO 大ホール、神戸女学院小ホール)

世界水準のオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応える(山田和樹指揮 モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団(5/25)、ヤニック・ネゼ＝セガン指揮 MET オーケストラ(6/22・23) など)。

(2) 国内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等 (阪急中ホール)

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、ダンス、狂言、落語など、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供(メディア/イアソン4/4～6、ミュージカル「ジョジョの奇妙な冒険」(4/9～14)、万作萬斎狂言(11/27～28)、月亭方正独演会(4/21) など)。

(3) 劇場の楽しみを広げる音楽オリジナル『シリーズ企画』

世界一流の室内楽団をはじめ、地元出身で幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げる。

(4) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家や国外アーティストを招き、親しみやすいプログラムを手ごろな価格で楽しむ「プロムナード・コンサート」や、県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による60分のコンサートを平日の昼間に開催する「ワンコイン・コンサート」により、広範囲な集客(裾野の拡大)をめざす。

6 舞台芸術団体フェスティバル

県内舞台芸術団体による舞台芸術団体フェスティバルを開催

7 ひょうごプレミアム芸術デー

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放や、特別イベントを実施するひょうごプレミアム芸術デーを開催(7/27)

(問い合わせ先)

663-8204 西宮市高松町 2-22 兵庫県立芸術文化センター
事業部広報担当課長 渡辺 TEL: 0798-68-0206